

均平+αの対策の組み合わせが基本!

早植え

○ジャンボタニシは気温が上昇すると活動を始め、柔らかい小さい苗（4葉期まで）を食害します。移植時期を早め、苗を早期に大きくしましょう。

浅水管理

○水深が浅いと貝の活動が抑制されるため、田植後約3週間は水深を4 cm以下（理想は1 cm）に維持しましょう。

田植時・田植後の農薬散布

○メタルデヒド粒剤（例：スクミノン、ジャンボたにくん、メタレックスRG粒剤）、
燐酸第二鉄粒剤（例：スクミンベイト3、スクミンブルー）等の登録薬剤のいずれかで、
殺貝や食害防止を図りましょう。

○農薬の使用にあたっては、必ず農薬登録内容（ラベル）を確認してください。

○水温があがり（15℃以上）、貝が触角を出して活発に動いている姿を確認してから散布しましょう。

○苗が5葉期以降になると、食べられにくくなります。それまでの間、浅水管理をしたうえで、貝の発生が多いほ場は農薬を併用して食害を防ぎましょう。

ジャンボタニシ防除対策事業

環境農業推進課では、ジャンボタニシの防除に取り組む地域に対して支援を行っております。

①食害防止（トラップの設置や均平作業等）1,000円～15,000円/10a（取組により異なる）

※レーザーレベラーによるほ場均平化（15,000円/10a）は、
令和6年10月から追加した支援メニュー（原則委託のみ）です。

②冬期の耕うん 1,000円/10a

③水路の泥上げ 500円/m

④地域独自の対策（化学合成農薬以外の農薬散布（スクミンベイト3等）や
ボランティアの活用等）3,000円/10a 新規追加メニュー

補助には要件があるため、下記のお問い合わせ先や、お近くの市町村までお問い合わせください。

お問い合わせ

農林水産部環境農業推進課 043-223-2888

または、所轄の農業事務所まで

あなたの田んぼは平らですか？

均平からの総合防除



ジャンボタニシ対策は均平から!

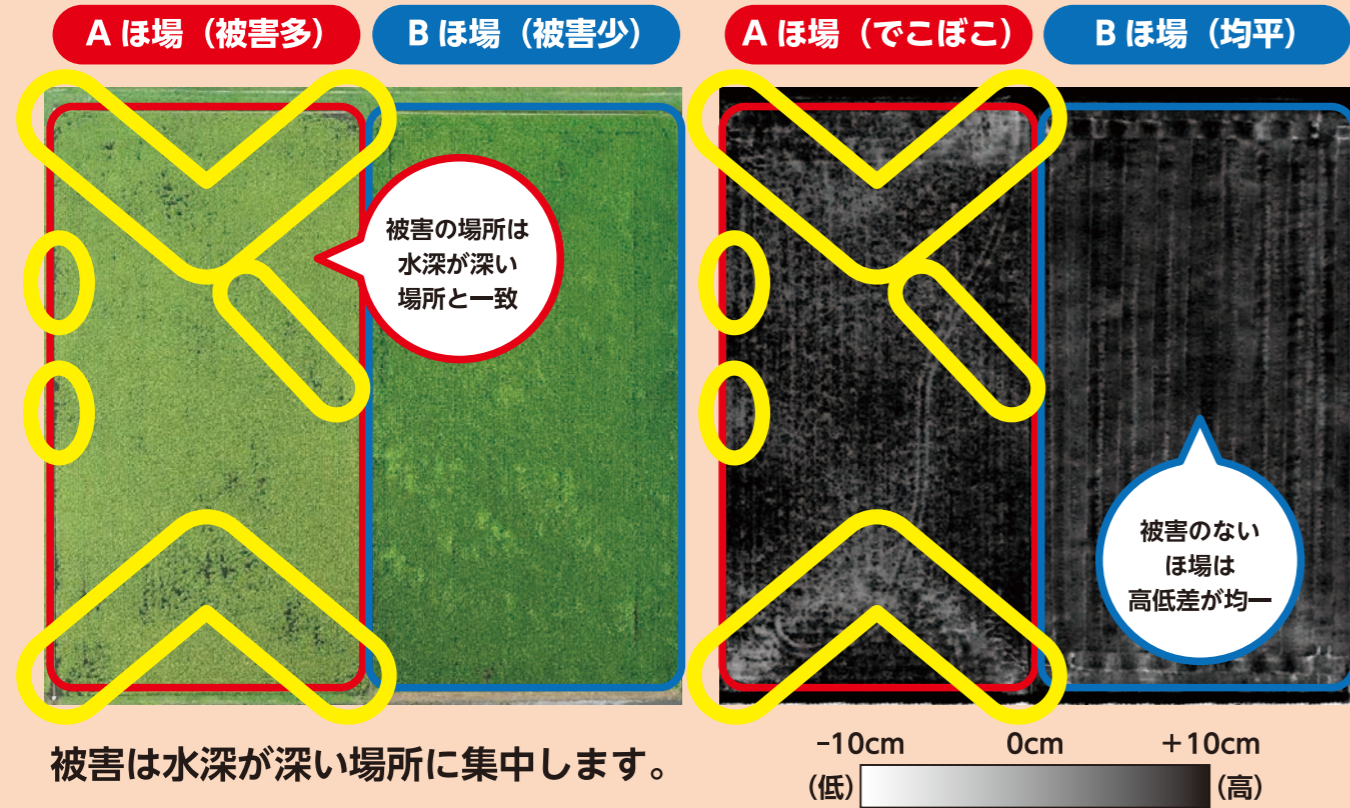


貝がいても、隣に大発生のほ場があっても、ほ場が均平なら被害はゼロ!

あきらめずに、STOP! ジャンボタニシ被害!

千葉県

特に均平による浅水管理がオススメ！



どうしてV字模様に深くなるの？

コンバインの使い方が均平度に影響を及ぼしている場合があります。

V字模様は収穫後の田面にあるコンバインの操作跡に酷似！

4辺を刈り取る方法では、クローラーの切り返し部分は低くなり、刈り始めには稲わらが落ちず土が固まってしまう。

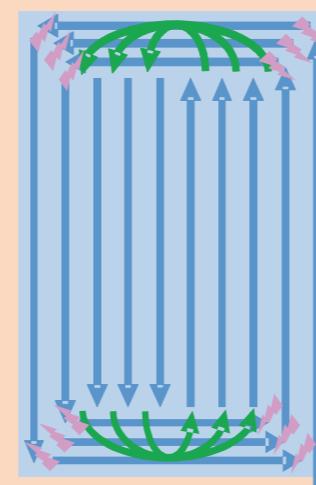
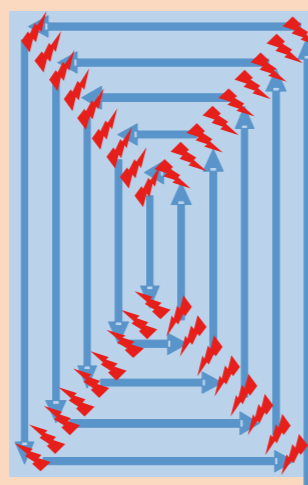
一方、切り返しを減らす方法では、特定の部分の土が固まったり沈んだりせず、ほ場全体が均平になりやすくなります。

日ごろの作業を丁寧に行うことも有効です！



4辺を刈り取る方法

切り返しを減らす方法



- 刈り取り作業
- ↻ 切り返さず旋回
- ⚡ 乱暴な切り返し
- ⚡ 穏やかな切り返し

どうやって均平にする??

水を張った時や、田植え後1か月程度の被害がよく見える時に、水深が深くなる場所を記録しておきます。

冬期にレーザーレベラーや、フロントローダー、整地キャリアなどを使って、高いところから低いところへ土を移動させます。



レーザーレベラー



フロントローダー



整地キャリア

仕上げに、代かき時に水深を確認しながら均平にします。

ただし、水を張った状態だと思ったより土は動かず、また、土を練りすぎてしまうため、部分的な土の移動にとどめます。



代かき整地

均平はメリットばかり

均平にすることで、肥料や除草剤の効きが均一になります。

生育が揃い、作業効率が上がります！
水管理もラクになります！

ジャンボタニシの被害が出ていてもいなくても

浅水管理をするためにはまず均平から！

均平なほ場では浅水管理ができなくても被害が少ない傾向があります。
生育ステージが進むにつれて食害は目立たなくなります！